

学習課題(小学校6年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆ 「海の命」（教科書 217～232 ページ）に取り組めます。

「海の命」では、「太一」や「太一」を取り巻く人たちの生き方がえがかれています。それぞれの人物の生き方が、「太一」にどんなえいきょうをあたえたかを考えながら読みましょう。

(1) 「海の命」という題名から、どんな物語か想像し、ノートや取組シートに書きましょう。その後全文を読み、構成と内容を確認しましょう。

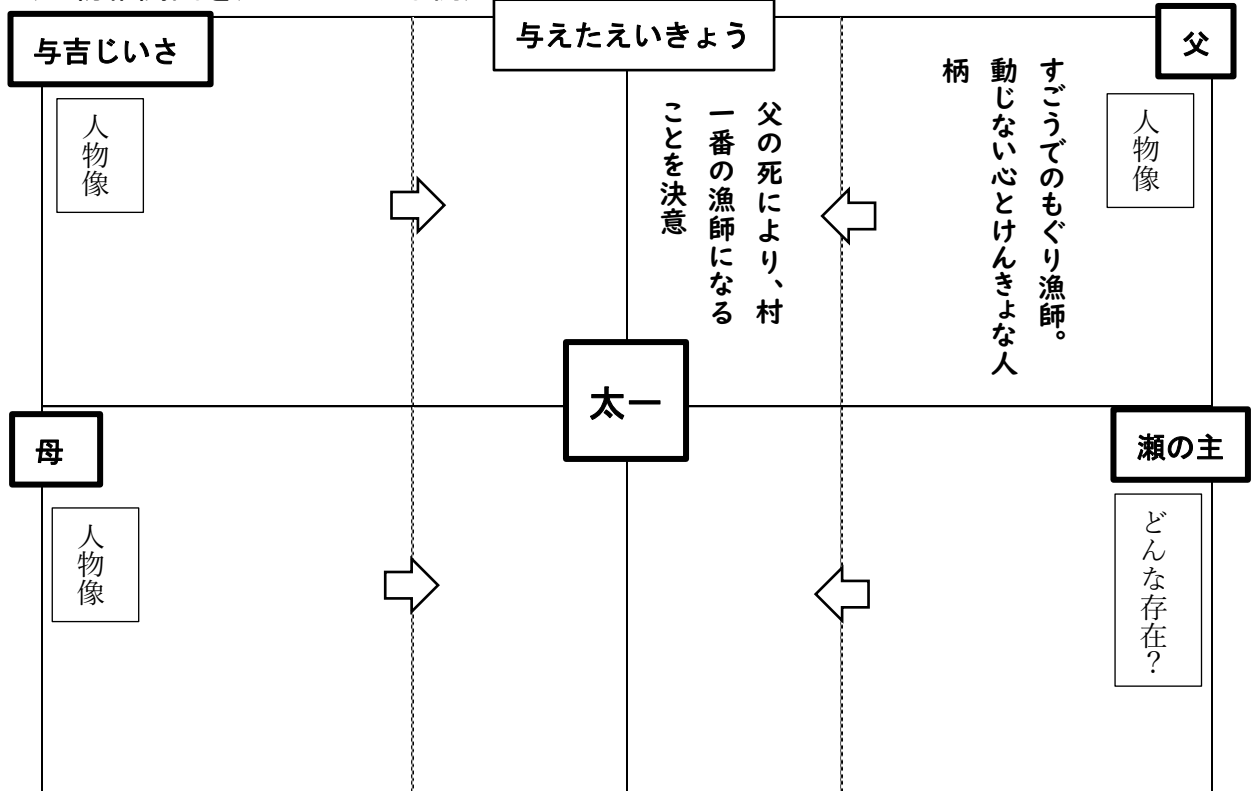
これらのことを確かめてみよう!

- ・いくつかの場面に分けられるか。
- ・「太一」の他にどんな人物が出てくるのか。それらの人物は、「太一」の成長にどう関わっているか。
- ・どんな出来事が起こり、どのような結末となるか。



(2) 太一と周囲の人物たちとの関係についてとらえましょう。ノートや取組シートに「人物相関図」などを書き、まとめてみましょう。（参考例あり）

（人物相関図を用いたまとめ例）



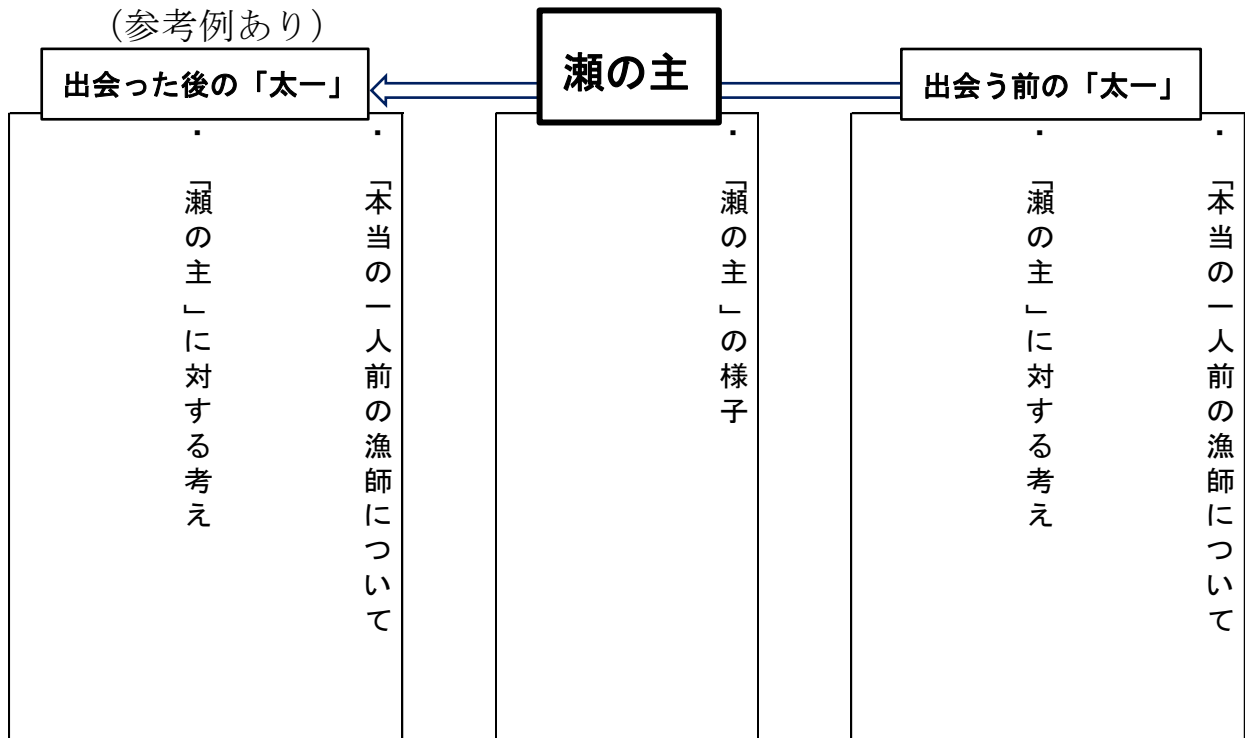
人物どうしの関わりをとらえるときは、
人物の行動や会話、情景などから考えるといいね。



【人物像につながる言葉の例】

- ・けんきょ ・ひかえめ ・おだやか ・誠実 ・温かい ・まっすぐ ・率直 ・熱意ある
 - ・するどい ・気難しい ・えんりよがち ・親切な ・しんちょう ・むぼうな ・信頼できる
 - ・がまん強い ・意志が強い ・自由 ・無理をしない ・家族思い ・勇気のある ・積極的
 - ・心配しよう ・みりよ克的 ・感情的 ・消極的 ・社交的 ・物分りのよい
- などがあります。当てはまるものはあるかな？

(3) 「瀬の主」との出会いによって「太一」の考えはどのように変化したのでしょうか。自分の考えをノートや取組シートにまとめましょう。
(参考例あり)



(4) 学習してきたことを参考にして、改めて「海の命」という題名について考えましょう。「太一」や他の人物にとって、「海の命」とは何なのか、自分の考えをノートや取組シートに書きましょう。

(5) 学習のまとめとして、それぞれの人物の生き方について考えてみましょう。そして、それに対する自分の考えもまとめ、ノートや取組シートに書きましょう。自分の考えをお家の人などに読んでもらい、感想を聞いてみましょう。教科書 232 ページにある「たいせつ」を読み、大事なことを確認しましょう。

◆書写「六年生のまとめ」（書写の教科書 34 ページ～）に取り組みます。

- (1) 教科書 36 ページを読みましょう。「筆順と点画のつながり」や「用紙に合った文字の大きさと配列」など、これまでの学習を生かし、「銀河」や「ゆずり葉」を毛筆で書いてみましょう。
- (2) 教科書 37 ページを読みましょう。「筆順と点画のつながり」や「部分の組み立て方（三つの部分）」など、これまでの学習を生かし、教科書 37 ページにこう筆で書きましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・「海の命」の作者である立松和平さんは、「いのちシリーズ」として、「川のいのち」、「街のいのち」、「田んぼのいのち」、「木のいのち」といった作品も書いています。P232 の「この本、読もう」で紹介されている本も含め、この学習が終わった後も、多くの本を読み、様々な人物や、その考え方、生き方にふれてもらえたらと思います。
- ・書写「六年生のまとめ」では、これまでの書写の学習を生かして毛筆や硬筆に取り組みます。これまでに書いた作品などがありましたら、改めて見直してみるとよいと思います。